



米沢市報道資料

よねざわ紅花シンポジウム
～米沢に咲く、紅花。～の開催について

令和7年6月19日
最上川源流よねざわ紅花プロジェクト推進協議会
事務局
地域振興課地域振興担当
電話 22-5111（内線 2804）

平素は、本市の紅花振興に対しまして格別な御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、7月1日～31日に開催する最上川源流よねざわ紅花まつりは、広く市民・民間・団体等の協力をいただきながら、紅花にちなんだ様々な体験イベントを組み入れることで、来場者の方々に紅花の魅力をより身近に感じていただくことを目指しております。

そのキックオフイベントである「よねざわ紅花シンポジウム～米沢に咲く、紅花。～」では、仕事や地域活動等で紅花に携わっている市内事業者、高校生、大学生等から紅花の歴史・文化・魅力を幅広くお伝えいただくことで、市内外の方に紅花について理解を深めていただきたいと思います。

つきましては、御多忙中のこととは存じますが、下記のとおり開催いたしますので、貴社の記事として掲載していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 日時 令和7年7月6日（日） 午後1時30分から午後3時30分まで

2 会場 伝国の杜 大会議室

3 定員 100人(事前予約制)

4 内容 第一部 紅花に関する活動紹介
第二部 対談形式によるトークセッション

5 申込方法 ①やまがたe申請
②事務局へのお問い合わせ（電話、窓口）
電話番号：0238-22-5111



お申込みフォーム

最上川源流よねざわ紅花まつり 2025 キックオフイベント
よねざわ紅花シンポジウム ～ 米沢に咲く、紅花。～
実施要項

1 趣 旨

市内外の方々に米沢の紅花の魅力をより身近に感じていただくため、広く市民・民間・団体等の協力をいただきながら、紅花にちなんだ様々な体験イベントを組み入れた「最上川源流よねざわ紅花まつり」を開催している。

今年度はそのキックオフイベントとして、仕事や地域活動等で紅花に携わっている市内事業者、高校生、大学生等から紅花の歴史・文化・魅力を幅広くお伝えいただくことで、市内外の方に紅花について理解を深めていただく。

3 日 時

令和7年7月6日（日） 午後1時30分から午後3時30分まで

4 会 場

伝国の杜 大会議室

5 内 容

よねざわ紅花プロジェクトには多くの地元高校生が携わり、市内事業者や大学生にも協力をいただきながら、新商品の開発・販売や体験イベント開催など紅花に関する様々な地域活動に積極的に取り組んでいる。また市内小学校においても紅花栽培から花摘み、染め、調理、販売など総合的な学習が実施され、多様な学習機会の創出として広がりを見せている。

このような高校生をはじめとした地元学生、大学生、地元事業者との紅花を通じた活動・学習の機会（学び合い）は、「多世代の交流の場づくり」「伝統文化の次世代への継承」そして「郷土への誇りと愛着の育成」にも繋がり、市全体の活気を生み出している。

第1部では、学校や地域と連携しながら紅花活動を実施している方々にその取組を紹介していただく。第2部では、その取組内容を基に、人と人を繋ぐ紅花の魅力とは何か、地域間や世代間等の交流の楽しさ（効果）、今後どのように地域活性化（地域づくり・人づくり）に活かしていけるか、受け継いできた紅花の歴史文化の継承の大切さ、など、故鈴木孝男氏の紅花教育なども振り返りながら、トークセッションしていただく。

【第1部】 紅花に関する取組紹介 午後1時35分～午後2時25分（50分）

発表者 ・山形県立沢米沢鶴城高等学校
・山形県立沢米沢興譲館高等学校
・ボランティアサークルポプラ（米沢女子短期大学サークル）
・株式会社川島印刷（紅花畑オーナー）

【第2部】 トークディスカッション 午後2時30分～午後3時30分（60分）

◆テーマ 「地域の紅花文化を知る・活かす・継承する」

パネリスト ・新田 克比古 氏（紅花染色家、紅花マイスター）
・本間 かりん 氏（株式会社川島印刷）
・邊見 舞衣 氏（米沢女子短期大学生OG）
・依 頼 中 （地元高校生）

コーディネーター 阿部 宇洋 氏（山形大学 学術研究院）

6 参加者 100名程度